

馬にあこがれて……



これは何でしょう



皆さんについての思い出などもお待ちしています。

■しめきり 12月13日(水)必着

■あて先 T-783 南国市大

橋甲二三〇一 南国市企画課

親子クイズ係

賞品 正解者の中から抽選で

5人の方に図書券を進呈

◎第213回親子クイズの答えは、太鼓でした。

第283回当選者発表(敬称略)

(応募総数13通)

岡林千佳(句末)

依光友子(西山)

六車勇子(野中)

武市泰征(福生)

野口幸子(久礼田)



広場

つたのか、いつのころからか、自分で馬を飼いたいと思つてやうになつてゐたそうです。

森祐さんが好きで飼い始めたので

すが、わざわざ動

物好きの伊尾木さん一家

いつのまにか家族中で馬が好きになつたそうです。

現在伊尾木さんが所有

している馬は、高知の競馬で

何度も優勝している芦毛の

キーブロンク号、中央競馬

の磨育で活躍していた栗毛

のササン号、鹿毛のマサヒロキン

グ号の三頭。馬の

食事は一日二食

大麦、麦の殻、わ

ら、干し草などを

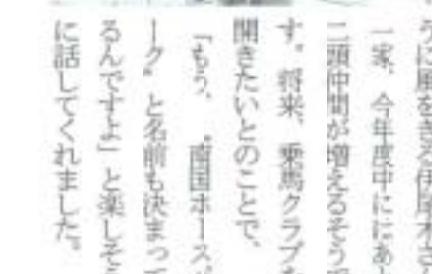
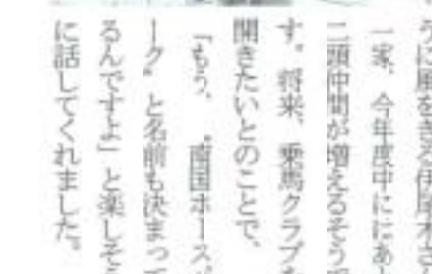
「馬に食べさせる

ために働いている

ようなもの」と伊

祐さんが言つたよう

に、その量はたい



ゆかさんは11月、障害飛越の試合に出場。

おしゃべりの

思い出がいっぱい

◆お祭りと言えば太鼓はつきものです。子供のころ氏神様の秋祭りに太鼓をたたかしてもらつた楽しい思い出がよみがえります。

(依光友子)

◆四年の娘が得意箇所で「おかあさん、これ、たいこでー大きな音がするがでー」と答えてくれました。その後は、妹と一緒にあき山のそーをたたき、たいこばやしが続きました。

(依光友子)

◆子供のころ、たいこの音を聞くと、おにやんでんぐが山から降りてきて、踊つてるような感覚でとても怖かった。

(武市泰征)

◆村の森に秋祭りが近づくと、若者たちが集まって早くから交替でたたきました。寒い朝も晷の顔は真っ赤になつて、汗がはじみ出ました。祭の終わるころは、手のひらに大きなマメがいくつもできました。

(山本学)



市指定無形文化財

二番叟を奉納

十月二十八日、長崎の八坂神社では秋の神祭が行われ、「この中で市指定無形文化財の神樂「三番叟」が奉納されました。

三番叟はいわれが記録に残つてなく、いつ、どのように始まつたものが不明。普通の神樂は神格を称え、神への願いを訴えるものですが、三番叟は天下太平を祈願し、農民の日々の生活の安全を歌つたもので、神話性がないといふ点で

多少趣が違います。また、子供による神楽も珍しいそうです。

この日踊り子を努めたのは、廿枝の西川麗道君。踊り子は隠家である五部落の持ち回りで、小学一年生の子が舞うそうです。西川君は、この日のために約一ヶ月前から練習を開始したとあって、その舞はなかなか堂に入ったもの。我が子の晴舞台にて「圓鏡もビデオ手に入っています!」



各地でコスモス便り

十月末から十一月にかけて、市内各地で見事なコスモスたちが、私たちの目を楽しませてくれました。

また、十一月十九日には、市役所南駐車場で商工感謝祭「コスモス祭り」が開催され、訪れたお客様は、きれ

いなコスモス畑の横で繰り広げられたマジックショーや和田アキ子そつくりさんショーを楽しみました。(写真上)

(吉木 五真下)(市役所南駐車場でのコスモス祭り)

